

第3学年 社会

学習教材および学習の進め方

使用 教材	<p><歴史的分野> 教科書：新しい社会～歴史～ 東京書籍 資料集：学び考える歴史 ワーク：社会の自主学习歴史2・3</p> <p><公民的分野> 教科書：新しい社会～公民～ 東京書籍 ワーク：社会の自主学习 公民</p>	持 ち 物	<p><3点セット> ・教科書 ・ノート ・資料集</p>
学 習 の 進 め 方	<p><確かな学力を身につけるには></p> <p>① まずは授業に集中しよう。自ら学ぶ姿勢を大切にしよう。</p> <p>② 毎回の授業の振り返りを大切に、分かったこと、分からなかったこと、もっと知りことを確認しよう。</p> <p>③ ワークなどの課題に一生懸命に取り組み、理解を深め、知識の習得をめざそう。</p> <p>④ ものごと（社会的事象）の特色や相互関連について追及する見方・考え方を身につけよう。 そのためには「なぜそうなったのか」、「どのように実現したのか」、「AとBにはどのようなつながりがあるのか」といった疑問を常に持ち、ものごと（社会的事象）の裏側に見える理由・目的・背景・関連性を考えることを大切にしよう。</p> <p><家庭学習では></p> <p>① 授業の復習として、プリントやワークなどの課題に取り組もう。</p> <p>② 受験勉強にも地道に取り組もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題集に取り組む場合は、計画的に取り組み、分からなかったところは復習、質問しよう。 ・他にも、単元ごとに要点を自作のノートにまとめるなど、受験勉強の方法はさまざまです。 <p><定期テストでは></p> <p>① 教科書やノートを見直そう。また重要語句をしっかりと覚えよう。（漢字もふくめて）</p> <p>② なぜ？何のために？といった背景・理由・目的を説明できるようにしよう。</p> <p>③ 教科書や参考書にある資料を正確に読み取れるようにしよう。</p> <p><学び合いについて></p> <p>「学び合い」＝「話し合い」ではありません。まずは自分の意見や疑問を持つこと、自分の考えを表現することを大切にしてください。その上で他の人の意見や考えを聞くことで、きっと学習は深まります。“わからなさ”や“深まった”を共有できる学習集団を目指そう。</p>		
学 習 上 の 注 意	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間のうちに授業の準備を整え、着席してチャイムが鳴るのを待とう。 ・荷物は床に置いたり机の横にかけたりせず、ロッカーに入れよう。 ・グループ学習に取り組むときは机をしっかりと合わせよう。 ・机を合わせたときは机の中央には何も置かず、筆記用具は外側に置こう。 ・提出物は期限を守って提出しよう。（ワークやノートなど） 		

学習内容および評価規準

学習内容および評価規準			評価の観点 評価の方法（見取り）		
一学期	4	<歴史的分野> ○第5章 開国と近代日本の歩み ○第6章 二度の世界大戦と日本 ○第7章 現代の日本と世界	中間	知識・技能	歴史的・公民的事象について理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。 ・授業への取り組み（資料の読み取りなどの知識・技能） ・授業の成果物 ・定期テスト
	5				
	6		期末		
	7				
二学期	9	<公民的分野> ○第1章 現代社会と私たちの生活 ○第2章 個人の尊重と日本国憲法 ○第3章 現代の民主政治と社会 ○第4章 私たちの暮らしと経済	中間	思考・判断・表現	歴史的・公民的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 ・授業への取り組み（考察およびその表現） ・授業の成果物 ・定期テスト
	10				
	11		期末		
	12				
三学期	1	○第5章 地球社会と私たち ○終章 よりよい社会をめざして	学年末	主体的に学習に取り組む態度	歴史的・公民的事象について、国家及び、社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。 ・授業への取り組み（粘り強く社会的事象に取り組む姿勢） ・授業の成果物 ・定期テストなど
	2				
	3				

